

N8503-43セットアップ補足手順書

本書は、N8503-43のセットアップの際にEXPRESSBUILDERのREVISIONの違いによるセットアップ方法の違いを補足するものです。
セットアップの際、誤って旧ドライバ、旧ユーティリティを使用してしまった場合は、本書の最初に戻って再度セットアップしてください。

目次

第1章	アレイのコンフィグレーションについて	2
第2章	Windows NT ドライバインストール手順	4
2.1	Windows NT ドライバインストール手順フローチャート	4
2.2	ディスクレイトラ配下にWindows NT をインストールする際の注意事項	5
2.3	Windows NT インストール後にディスクレイトラを実装する場合	7
第3章	NetWare ドライバインストール手順	8
3.1	NetWare をインストール済みのサーバにデータボリューム用として増設する場合	8

第1章 アレイのコンフィグレーションについて

REVISION:028(ID:136-174914-028-A)より以前のEXPRESSBUILDERを使用してセットアップをされる場合は、EXPRESSBUILDERの内容をご確認ください。確認の手順は以下の通りです。

1. EXPRESSBUILDER CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてExpressサーバを立ち上げてください。
2. メインメニューから"終了"を選択します。MS-DOSコマンドプロンプトが表示されます。
3. 次のコマンドを入力して、DACCF.EXEのタイムスタンプを確認してください。

C> DIR ¥DAC¥DACCF¥DACCF.EXE (斜体字を入力してEnterキーを押す)

- DACCF.EXEのタイムスタンプが 98-10-02 14:53 より新しい場合
通常どおりEXPRESSBUILDERを使用してセットアップを行ってください。
- DACCF.EXEのタイムスタンプが98-10-02 14:53より古い場合
本ボード添付の「Mylex DACコンフィグレーションユーティリティ」を使用する必要があります。
これは英語版MS-DOSの環境で動作するユーティリティですので、以下の手順で英語版「MS-DOS起動ディスク」を作成しておいてください(空きFDを一枚ご用意ください)。
 1. EXPRESSBUILDER CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、Expressサーバを立ち上げる。
 2. メインメニューから"カスタムセットアップ"を選択する。
 3. メニューの「サポートディスクの作成」から「MS-DOS起動ディスク」を選択する。
ご用意された空きFDをFDドライブへ挿入し「MS-DOS起動ディスク」を作成してください。
 4. CD-ROMを取り出し、手順3にて作成したFDをFDドライブへセットしたままExpressサーバを再起動する。
「MS-DOS起動ディスク」からMS-DOSが起動し、MS-DOSコマンドプロンプトが表示されます。
 5. 次のコマンドを入力後、画面に従って'Y'キーを押して起動ディスクの動作環境を変更する。
A> SWITCH (斜体字を入力してEnterキーを押す)

以上で、英語版「MS-DOS起動ディスク」の作成は完了です。ライトプロテクトをONにして保管するようにしてください。

次に、以下のように「バックアップFD」を作成して、これで運用されることをおすすめします(空きFDを一枚ご用意ください)。また作業の前に「Mylex DAC MS-DOS Utility」のライトプロテクトがONになっていることを確認してください。

1. 英語版「MS-DOS起動ディスク」をFDドライブにセットして、Expressサーバを立ち上げる。
MS-DOSコマンドプロンプトが表示されます。
2. 次のコマンドを入力してください。

A> DISKCOPY A: A: (斜体字を入力してENTERキーを押す)

3. 次のメッセージが現れたら、ボード添付の「Mylex DAC MS-DOS Utility」とラベルに書かれた媒体をセットし、何かキーを押す。

Insert SOURCE diskette in drive A:

Press any key to continue . . .

4. 次のメッセージが現れたら、空きFD (バックアップFD) をセットし、何かキーを押す。

Insert TARGET diskette in drive A:

Press any key to continue . . .

5. 以降、手順3、手順4を繰り返し、次のメッセージが現れたら 'N' キーを押して終了する。

Copy another diskette ? (y/n)

以上で、「バックアップFD」の作成は完了です。ライトプロテクトをONにして保管するようにしてください。

次に、以下のようにして「Mylex DACコンフィグレーションユーティリティ」を起動してください。

1. 英語版「MS-DOS起動ディスク」をFDドライブにセットして、Expressサーバを立ち上げる。

MS-DOSコマンドプロンプトが表示されます。

2. FDドライブへ「バックアップFD」をセットした後、次のコマンドを入力する。

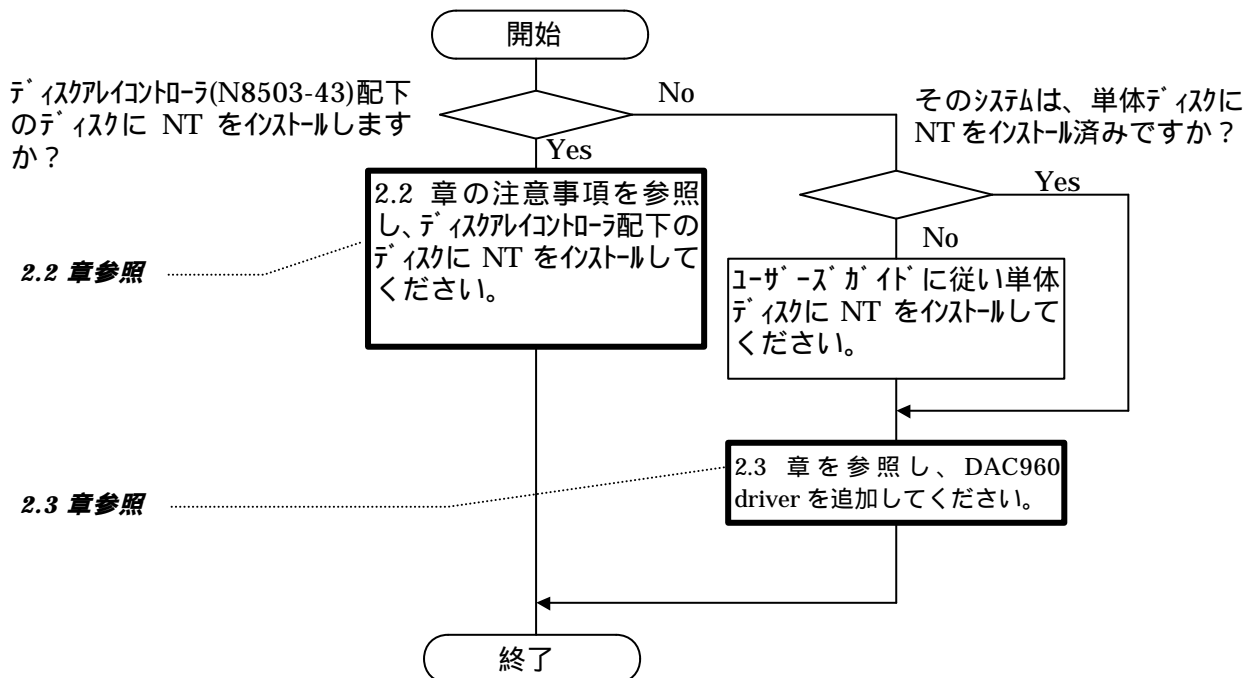
A> DACCF

(斜体字を入力してEnterキーを押す)

「Mylex DACコンフィグレーションユーティリティ」の使用方法については、本体装置に添付の「ユーティリティセットアップガイド」を参照してください。

第2章 Windows NT ドライバインストール手順

2.1 Windows NT ドライバインストール手順フローチャート



<Windows NT インストール時の注意事項>

- ・システムドライブを複数作成せず、一つだけ作成してインストールを行ってください。
- ・複数のシステムドライブを作成する場合は、一旦インストールを行った後、コンフィギュレーションユーティリティを使用して、システムドライブを追加作成してください。

2.2 ディスクレイアウト配下に Windows NT をインストールする際の注意事項

NEC EXPRESSBUILDER REVISION:029 以降を使用してセットアップする場合には「ユーザーズガイド」

を参照の上、その手順に従ってインストールして下さい。

以下の手順は、NEC EXPRESSBUILDER REVISION:028 以前を使用して Windows NT をインストールする場合に

のみ参照して下さい。

また、基本処理装置には最新版ドライバFDが添付されている場合があります。その際は必ず添付媒体の指示に従い、最新版ドライバを使用してください。

- (1) システムの電源 ON 後、画面が以下のどちらかの状態の時、F5 キーと F6 キーを押してください。
 - セットアップは、コンピュータのハードウェア構成を検査しています の表示中。
 - 青一色の画面の表示中。(但し、「ユーザーズガイド」中の「ExpressPicnic を使わないインストール」の説明において、F5 キーを押す指示の無いシステムに関しては、F6 キーのみを押し、(2) の手順を省いてください。)
- (2) 基本処理装置に添付の「ユーザーズガイド」及び、表示されるメッセージに従い、Windows NT HAL の置き換えを実施してください。
- (3) Windows NT HAL の置き換え後、以下のメッセージが表示されます。S キーを押してください。

セットアップはシステムにインストールされている 1 つ以上の大容量記憶装置の種類を判断できませんでした。
または、アダプタの手動指定が選択されています。
次の大容量記憶装置をサポートするドライバを読み込みます。
.....

- (4) 以下のメッセージが表示されます。「その他」を選択し、Enter を押してください。

次の一覧から使用する SCSI アダプタの種類を選択するか、アダプタの製造元から提供されたデバイスサポートディスクがある場合は[その他]を選択してください。

- (5) ラベルに「Mylex DAC Windows NT Driver」と書かれたFD媒体を使用し、FDユニットに挿入し、
Enter を押してください。
「Mylex DAC960 Disk Array Controller」を選択後、再度、Enter を押して下さい。
- (6) 以下のメッセージが表示されます。メッセージ及び、「ユーザズガイド」に従って、作業を続行してください。

Windows NT Server セットアップ

セットアップへようこそ

Microsoft(R) Windows NT (R) オペレーティング システム
Version 4.0のセットアップ プログラムは、Windows NT の
インストールと設定を行います。

.....

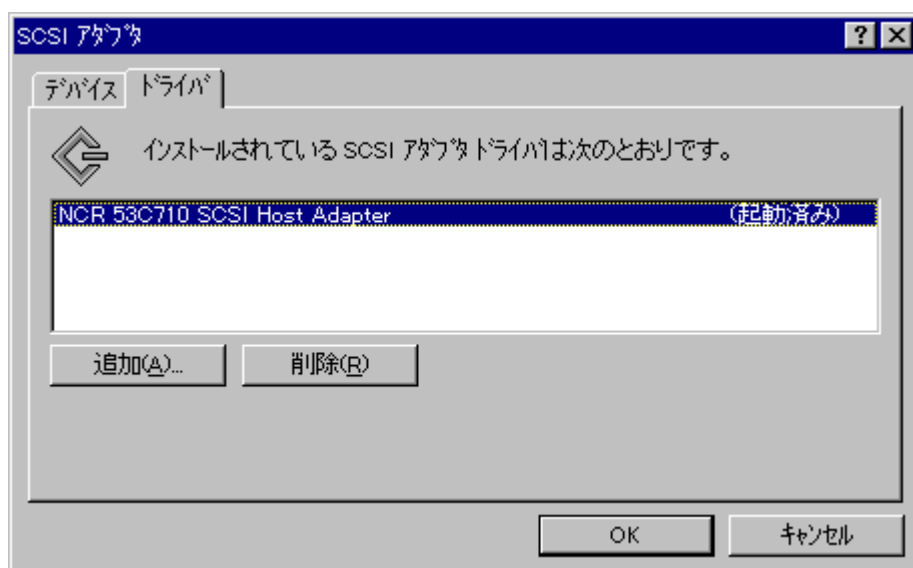
インストール終了後、「ユーザズガイド」を参照のうえ、システムのアップデートを忘れないように注意してください。

自動的に行われるシステムの再立ち上げにより、ドライバが有効になります。

2.3 Windows NT インストール後にディスクレコントローラを実装する場合

基本処理装置に最新版ドライバFDが添付されている場合は、必ず添付媒体の指示にしたがい、最新版ドライバを使用してください。

- (1) スタートメニューの「設定」にあるコントロールパネルを選択します。
- (2) 「SCSI アダプタ」を起動し「ドライバ」タブを選択します。



- (3) 「Mylex DAC960 ...」が表示されている場合は、「Mylex DAC960 ...」を選択し、「削除」ボタンをクリックし削除してください。

「Mylex DAC960 ...」が表示されていない場合は、そのまま、(5)以降を実施してください。

- (4) ボードに添付されています「Mylex DAC Windows NT Driver」と書かれたFD媒体をFDユニットに挿入します。

- (5) 「追加」をクリック後、右下の「ディスク使用」ボタンを選択し、「参照」ボタンで選択し、FDユニットを指定し、「Mylex DAC960 Disk Array Controller」を選択します。

- (6) 「OK」をクリックすると、再度パスの入力要求が行われますので、「a:¥」を入力してください。

(3)でドライバの削除を行った場合は、既存ドライバを使用するか、新しいドライバを使用するか、問い合わせがあります。その際は、「新しいドライバ」を選択して下さい。再度パスの入力要求が行われる場合がありますが、その際は、再度FDユニットのパス("a:¥")を入力してください。この操作により、DAC960ドライバ(dac960nt.sys)が組み込まれます。

- (7) セットアップ終了後、「ユーザズガイド」を参照のうえ、**システムのアップデートを忘れないように注意してください。**

自動的に行われるシステムの再立ち上げにより、ドライバが有効になります。

第3章 NetWareドライバインストール手順

Expressサーバ ディスクレスモデルでNetWareをご使用になる場合、サーバ装置添付のEXPRESSBUILDER CD-ROMが REVISION 029以前の場合は本コントローラをサポートしていませんのでご注意ください。

EXPRESSBUILDER CD-ROMの REVISION が、030以降の場合は、NetWareのマニュアルおよび装置添付の「ユーザーズガイド」に従ってインストールしてください。

なお、既にNetWareをインストール済みのサーバに増設する場合は、以下を参照してください。

3.1 NetWareをインストール済みのサーバにデータボリューム用として増設する場合

(1)NetWareサーバ起動前に、MS-DOS領域にMyLex DACドライバがおよびSSI HDD用モジュールあることを確認する。

(ドライバおよびモジュールがない場合は、「ユーザーズガイド」に従ってデバイスドライバのセットアップを行ってください。)

NetWare 3.12Jの場合
DIR C:¥SERVER.312¥MDAC.HAM
DIR C:¥SERVER.312¥SCSIHD.CDM

IntranetWareの場合
DIR C:¥EXPNW411¥MDAC.HAM
DIR C:¥EXPNW411¥MDAC.DDI
DIR C:¥EXPNW411¥SCSIHD.CDM

NetWare5の場合
DIR C:¥EXPNW5X¥MDAC.HAM
DIR C:¥EXPNW5X¥MDAC.DDI
DIR C:¥EXPNW5X¥SCSIHD.CDM

(2)エディタ(EDIT)にて、NetWareサーバ起動用の環境ファイル STARTUP.NCF を編集し、以下のような EXDAC960.DSK ドライバをロードする行がある場合にはその行を削除する。

編集するファイル : NetWare 3.12Jの場合 ... C:¥SERVER.312
IntranetWareの場合 ... C:¥NWSERVER
NetWare5の場合 ... C:¥NWSERVER

削除するロード行 : LOAD C:EXDAC960

(3)NetWareサーバを起動し、「ユーザーズガイド」および「NetWareマニュアル」に従って、ドライバのインストール(追加)および必要な設定変更を行う。

インストールするドライバ名 : MDAC.HAM, SCSIHD.CDM
インストール元ディレクトリ : NetWare 3.12Jの場合 ... C:¥SERVER.312
IntranetWareの場合 ... C:¥EXPNW411
NetWare5の場合 ... C:¥EXPNW5X

< その他注意事項 >

本コントローラを使用する場合、従来のMylexディスクアレイコントローラ(N8503-36Aなど)で提供していた Mylex DAC NetWareユーティリティ (EXDACMON, EXDACADM) は使用できません。

コンフィギュレーションの参照や変更を行う際には、Mylex DAC MS-DOSユーティリティ (DACCF.EXE) や Global Array Manager をご使用ください。